

第2号様式 その1

1 自動車使用台数

	計画策定時	2022年度実績
使用する自動車の台数	63	63

2 自動車から発生する温室効果ガス及び排出ガス量の排出量

CO ₂ 排出量	2022年度実績排出量(t)	38.0
	目標(計画期間平均排出量)(t)	40.0
NOx排出量	2022年度実績排出量(kg)	1.7
	目標(計画期間最終年度排出量)(kg)	1.6
PM排出量	2022年度実績排出量(kg)	0.0
	目標(計画期間最終年度排出量)(kg)	0.0

3 特定低公害・低燃費車等の導入の取組に関する報告事項【基本対策】

内	容
<ul style="list-style-type: none"> 令和8(2026)年度末までに特定低公害・低燃費車の導入割合を30%以上とする。 自社物件の事務所4箇所に電気自動車用の充電設備を設置する。 車両の更新は、電気自動車、ハイブリッド車、九都県市指定公害車である軽自動車を優先して導入する。 	

4 エコドライブの取組に関する報告事項【基本対策】

報告事項	内	容
エコドライブに関する対策	適正運転の実施	燃費の記録管理、エコドライブの教育・訓練の実施、駐停車時のアイドリングストップの推進
	車両の維持管理	点検・整備マニュアルの作成・配布、始業点検、定期点検の実施、運転日報の作成

第2号様式 その2

5 自動車使用の合理化の取組に関する報告事項

報 告 事 項		内 容
車両の有効利用の促進	共同輸配送の促進	人事異動等の荷物配送については同一ビル内の部署における集荷・仕分け等の業務を共同化して実施することで積載効率及び輸送効率の向上を図った。
その他自動車使用の合理化に関する計画事項	自動車使用の抑制	鉄道、バス等の公共交通機関の利用を推奨するとともに、テレワークやリモート会議の推進、カーシェアリングの利用促進を図る。
	情報化の推進	E T Cの導入と同時にV I C S（道路交通情報通信システム）搭載カーナビゲーションシステム等を利用することで渋滞を回避し、効率的な運転を実施している。
	物流拠点や車両待機場の整備等による環境への配慮	駐停車場所・運転手控え室の整備、移動時における路上駐停車の自粛を推進する。

6 他者の自動車を利用する場合における自動車環境負荷を低減するための取組に関する報告事項

報 告 事 項	内 容
低公害・低燃費車等の利用割合の向上	条例適合車であることの確認、環境評価を受けている会社の利用
配送条件の環境配慮	契約時の環境配慮の励行

7 その他自主的な取組に係る報告事項

報 告 事 項	内 容		
自主的な情報公開	自社が取り組んでいる環境情報をホームページで公表している		
自動車環境負荷を低減するための取組に係る第三者評価の取得等の状況			
<input type="checkbox"/> ISO14001 (年取得)	<input type="checkbox"/> グリーン経営認証 (年取得)	<input type="checkbox"/> エコアクション21 (年取得)	
<input type="checkbox"/> 東京都貨物輸送評価 (年取得)	<input type="checkbox"/> グリーン・エコプロジェクト (年参加)	<input type="checkbox"/> その他 () (年取得)	